

証券コード：6850

第79期

中間報告書

平成26年4月1日～平成26年9月30日まで

株式会社 **エー**

※当社藤岡事業所ビオトープ

株主のみなさまへ



代表取締役社長

菊谷 嵩夫

株主のみなさまには、平素格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当上半期におけるわが国経済は、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動減により一時的な落ち込みがありました。新たな設備投資の動きもあり、先行きに明るさも見えました。海外では、米国の堅調な景気拡大が継続する一方、欧州や一部の新興国において経済の停滞が見られました。

このような環境の中、当社グループは、新中期経営計画の初年度にあたる本年を、創立80周年を迎える2016年度に向けて高収益企業への変革に大きく踏み出す年と位置付け、山形事業所の増床や藤岡の機器開発センターの開設など生産・開発体制の増強に積極的に取り組みました。

当期業績につきましては、製造業の設備投資は回復基調で推移しましたが分野毎の需要には未だ跛行があり、受注高、売上高はともに昨年に比べて増加したものの目標達成には至らず、四半期純利益は低水準な結果となりました。

このような状況から、まことに不本意ながら中間配当につきましては実施を見送らせていただきました。

今後、当社グループでは新商品開発を一段と加速し、機器やセンサを駆使してお客様のニーズに合ったループソリューションを提供することにより、計装システムとしての付加価値を高める取組みを推進します。

また、ビフォアサービスからアフターサービスまで一貫した新たなサービス体制を構築するため、子会社の(株)チノーサービスを2015年1月1日付で合併して営業本部と統合し、営業活動とのシナジー増大を目指します。

この下半期、以上の点をはじめとして既存事業の更なる強化と新事業の積極展開に努め、全社一丸となって年度業績の確保に取り組んでまいります。

株主のみなさまにおかれましては、引き続き変わらぬご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2014年11月

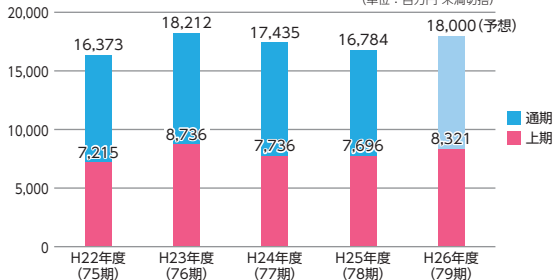
◆当期の概況

(単位：百万円 未満切捨)

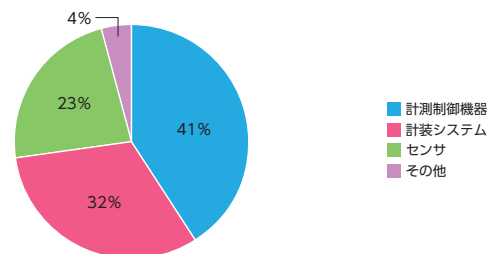
	当上半期	前上半期	増減
受注高	9,407	8,279	1,128
売上高	8,321	7,696	624
国内売上高	6,710	6,380	330
海外売上高	1,610	1,315	294
営業利益(△損失)	37	△89	127
経常利益	120	17	102
四半期純利益	57	59	△1

◆連結売上高の推移

(単位：百万円 未満切捨)

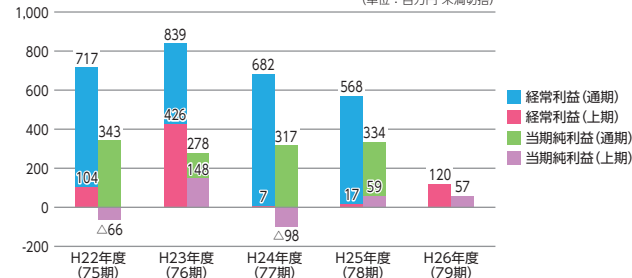


◆セグメント別売上構成



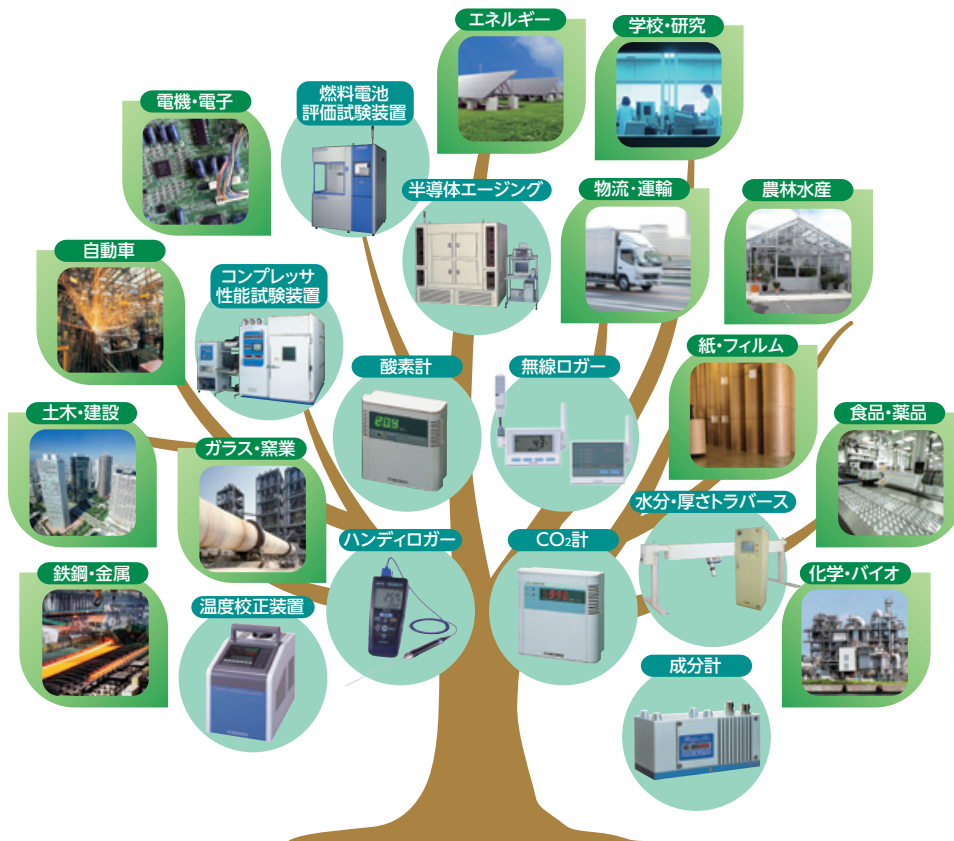
◆経常利益 当期純利益推移

(単位：百万円 未満切捨)



チノーは温度のエキスパートとして、あらゆる産業の発展に貢献してまいります。

チノーグループは、長年培ってきた「計測・制御・監視」の技術を基に、環境、安全、安心に係わる分野をはじめ、広く産業界に各種機器、システムを製造・販売しています。今後は多くの実績を持つ放射温度計・熱画像カメラの新機種や、グループ会社の持つ無線技術と食物栽培ハウス制御技術を取り入れた新しいハウス制御システムの開発、販売にも注力してまいります。



チノーは、各種センサ～調節計・記録計・操作端～収録・監視パッケージソフトなど入口から出口まですべての商品レパートリーを揃えており、みなさまのニーズに対応したループソリューションを提案いたします。

決算の概要

◆連結貸借対照表 (要旨)

(百万円)

科目	当第2四半期 (平成26年9月30日現在)	前期 (平成26年3月31日現在)	増減
【資産の部】			
流動資産	14,396	14,447	△50
固定資産	9,040	7,899	1,140
有形固定資産	5,353	4,139	1,214
無形固定資産	963	867	96
投資その他の資産	2,723	2,892	△169
資産合計	23,437	22,346	1,090
【負債の部】			
流動負債	6,923	5,591	1,332
固定負債	2,422	2,810	△387
負債合計	9,346	8,401	945
【純資産の部】			
株主資本	13,143	13,228	△85
資本金	4,292	4,292	－
資本剰余金	4,072	4,072	－
利益剰余金	6,267	6,387	△119
自己株式	△1,488	△1,523	34
その他の包括利益累計額合計	67	△107	175
少数株主持分	879	824	54
純資産合計	14,090	13,945	145
負債純資産合計	23,437	22,346	1,090

(百万円未満切捨)

【連結貸借対照表】

- ◎有形固定資産の増加要因は当社山形事業所増床に伴う支払額762百万円を建設仮勘定に計上したことによるものです。
- ◎流動負債の増加要因は、山形事業所増床資金の今期借入350百万円及び仕入債務368百万円の増加等によるものです。

◆連結損益計算書 (要旨)

(百万円)

科目	当第2四半期 (平成26年4月1日から 平成26年9月30日まで)	前年同期 (平成25年4月1日から 平成25年9月30日まで)	増減
売上高	8,321	7,696	624
売上原価	5,830	5,431	399
売上総利益	2,490	2,265	225
販売費及び一般管理費	2,453	2,354	98
営業利益(△損失)	37	△89	127
営業外損益	82	107	△24
経常利益	120	17	102
特別損益	△8	99	△108
税金等調整前四半期純利益	112	117	△5
法人税等	34	51	△16
少数株主利益	20	6	13
四半期純利益	57	59	△1

(百万円未満切捨)

◆連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(百万円)

科目	当第2四半期 (平成26年4月1日から 平成26年9月30日まで)	前年同期 (平成25年4月1日から 平成25年9月30日まで)	増減
営業活動による キャッシュ・フロー	820	343	477
投資活動による キャッシュ・フロー	△1,149	△490	△658
財務活動による キャッシュ・フロー	△24	227	△251

(百万円未満切捨)

【連結損益計算書】

- ◎営業損益の減少要因は為替差益41百万円の減少等によるものです。

【連結キャッシュ・フロー】

「営業活動によるキャッシュ・フロー」

- ◎当期の主なプラス要因は減価償却費346百万円、売上債権1,209百万円の減少、一方主なマイナス要因は棚卸資産669百万円の増加、仕入債務205百万円の減少です。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」

- ◎当期の主なマイナス要因は、有形固定資産の取得1,418百万円です。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」

- ◎当期の主なマイナス要因は配当金の支払298百万円、一方プラス要因は、短期借入金の純増262百万円です。

トピックス

熱画像温度チェッカ「Easy Thermo」発売 2014年度グッドデザイン賞受賞

「温度は見る時代へ」をコンセプトに低価格で業界最小を実現したハンディ形の熱画像カメラ「Easy Thermo」を2014年4月に発売しました。

「EasyThermo」は、誰でも手軽に使える「一人一台の熱画像カメラ」を目指して開発され、発売以来ポケットサイズで持ち運びが便利、操作も簡単で扱いやすいと好評をいただいています。また、そのコンセプトやデザインが評価され、10月に2014年度のグッドデザイン賞を受賞しました。



Easy Thermo

新基幹システムを本格導入

かねてより準備を進めてきた新基幹システムが6月に本格的な運用を開始しました。

当システムの導入により、個々に分散していた生産・販売をはじめとする各種情報の一元化と最新情報のリアルタイムでの更新が実現し、データベースの活用による業務の高度化・効率化が推進されるとともに、グループ全体最適となるグローバル管理のシステム構築が大きく前進します。

山形事業所 増床工事が完成

生産体制再編の一環として進めてきた山形事業所（山形県天童市）の増床工事が2014年5月22日に完成しました。約5割増床された山形事業所には、プリント基板実装装置や成形機など新たな設備を導入し、部品の内製比率を高めることによりコスト競争力を引き上げます。

藤岡事業所 機器開発センターが竣工

2014年8月20日に藤岡事業所（群馬県藤岡市）で機器開発センターを竣工しました。

当センターは、昨年開設50周年を迎えた藤岡事業所のリニューアル計画として進められていた事業で、新社屋は「快適」・「省エネルギー」・「環境」に配慮した設計を採用しています。

藤岡事業所は、記録計や調節計、燃料電池評価試験装置などを開発・製造していますが、当センターは開発と生産、品質保証の各部門を集約した三位一体の体制で今後グローバルに展開していく機器開発の推進拠点としての役割を担っていきます。



CSRへの取り組み

当社グループではCSR活動の一環として以下の活動を推進しています。

◆環境配慮経営

環境マネジメントシステムISO14001の全社認証を取得し、省エネルギー、廃棄物の削減、製品のグリーン化を宣言し、環境負荷の低減に努めています。

◆環境支援製品

温度センサ、放射温度計、熱画像カメラ、燃料電池試験装置、カロリー計測装置を環境支援製品と定め、事業を通じて環境に寄与しています。

◆チノービオトープフォレスト

藤岡事業所内に設けられたチノービオトープフォレストで、絶滅が危惧されているヤリタナゴの分散保護や、アサザやフジバカマの移植など希少種の分散保護を行っています。またビオトープを活用したイベントや環境学習等を実施しています。

◆社会貢献活動

社員の親睦会「千交会」を通じて、献血、森林整備ボランティア活動、奉仕活動を行っています。

株式情報

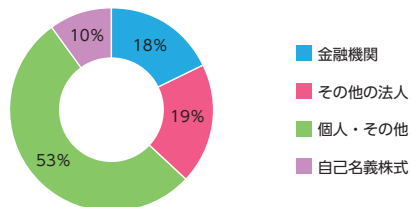
(平成26年9月30日現在)

◆発行可能株式総数	23,820,000株
◆発行済株式総数	9,560,116株
◆株主数	6,441名
◆大株主	

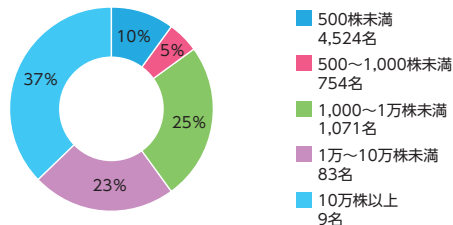
株主名	所有株数	出資比率
チノー取引先持株会	847 千株	8.86 %
チノー従業員持株会	384	4.02
株式会社三菱東京UFJ銀行	338	3.54
株式会社りそな銀行	260	2.71
株式会社ニッカトー	207	2.17
株式会社北浜製作所	182	1.90
日本生命保険相互会社	173	1.81
株式会社共和電業	140	1.46
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	97	1.02
日本証券金融株式会社	97	1.01

出資比率は発行済株式総数に対する所有株式の割合
(ご参考) 株式会社チノー (自己保有株式) 1,000千株

◆所有者別分布状況 (所有株式比率)



◆所有株数別分布状況 (所有株式比率)



会社概要

(平成26年9月30日現在)

◆商号	株式会社 チノー
◆英文商号	CHINO CORPORATION
◆創立	大正2年3月
◆設立	昭和11年8月1日
◆資本金	4,292百万円
◆従業員数	(連結) 937名 (単独) 654名
◆本社	〒173-8632 東京都板橋区熊野町32番8号
◆役員	代表取締役社長 荻谷 高夫 専務取締役 小針 哲郎 専務取締役 森山 文隆 専務取締役 松本 正一 常務取締役 吉田 幸一 常務取締役 清水 孝一 取締役 山崎 敬泰 取締役 長谷川 明彦 取締役 西口 三喜男 取締役 豊田 達夫 取締役 久永 正人 取締役 福岡 智人 常勤監査役 岸 隆輔 社外監査役 澤 眞三郎 社外監査役 大原 隆三郎

主要な事業所

名称	所在地
本社・技術開発センター	東京都 板橋区
東京支店	東京都 板橋区
北部支店	埼玉県 さいたま市
大阪支店	大阪府 吹田市
名古屋支店	愛知県 名古屋市
藤岡事業所	群馬県 藤岡市
久喜事業所	埼玉県 久喜市
山形事業所	山形県 天童市

子会社

名称	所在地
株式会社チノーサービス	埼玉県 久喜市
株式会社チノーソフテックス	群馬県 藤岡市
三基計装株式会社	埼玉県 久喜市
株式会社浅川レンズ製作所	埼玉県 久喜市
アーズ株式会社	神奈川県 横浜市
CHINO Works America Inc.	アメリカ合衆国 ロサンゼルス市
上海大華一千野儀表有限公司	中華人民共和国 上海市
千野測控設備(昆山)有限公司	中華人民共和国 昆山市
韓国チノー株式会社	大韓民国 京畿道華城市
CHINO Corporation India Private Ltd.	インド共和国 ナビムンバイ市
CHINO Corporation (Thailand) Limited	タイ王国 バンコク都

株主メモ

- ◆決算期日 3月31日
- ◆定時株主総会 6月下旬
- ◆配当金受領株主確定日 3月31日、9月30日
- ◆基準日 3月31日
- ◆公告方法 当社ホームページ (<http://www.chino.co.jp/financial/index.html>) に掲載しております。
ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。
- ◆上場証券取引所 東京証券取引所 市場第一部
- ◆株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
特別口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
(連絡先) 〒137-8081
東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-232-711 (フリーダイヤル)
- ◆単元株式数 100株
当社は平成26年8月1日をもちまして、単元株式数をそれまでの1000株から100株に変更するとともに、普通株式5株を1株の割合で併合いたしました。

株式事務手続きのご案内

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。
2. 特別口座にて株式を管理されている場合の各種お手続きにつきましては、上記特別口座管理機関にお問い合わせください。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

ホームページのご案内

<http://www.chino.co.jp>

主な内容

製品情報、サポート情報、企業情報、IR情報

CHINO

株式会社 **チノ**

〒173-8632 東京都板橋区熊野町32番8号 TEL 03-3956-2111 (大代表)

